

はじめりはここから、みんなが最初に覚えるポジション ハーフポジション

・ハーフポジション

コントラバスの教則本で最初に登場するポジション。

開放弦の音を覚えたらハーフポジションへ進むことから基本のポジションとも言われている。

しかし、12のポジションの中で音と音の間隔が一番広く、指をしっかりと開いて弦を押さえる必要があることから、はじめは左手の形をキープするのが大変なポジションでもある。

・ハーフポジションで弾けるスケール

F-dur (へ長調) B-dur (変ロ長調)

G線を使ったハーフポジションの音列



または



《異名同音》

G線を使ったハーフポジションの音列をみると、音符が2つの表記に分かれています。

楽譜上の表記は違っていても、実際には同じ音であることを「異名同音」と呼びます。

ピアノでたとえると黒い鍵盤の音になりますが、名前が異なるだけで音は同じです。

異名同音は、異なる名前 (GisとAs) の同じ音 (出てくる音は同じ) と覚えておくと良いでしょう。

ハーフポジション 各弦の音

メトロノームと合わせて各弦の音を覚えよう！

はじめはゆっくりから、弓を全部使って、または音符の長さに合わせた配分で練習します。

弓と弦は直角に、左手の形は開放弦を弾いているときも弦の上でキープしておきましょう。

1の指は1本で押さえるから1、2の指は2本で、4の指は4本で押さえましょう。

♩ = 44 ~

